

よしず
葦簀作り体験を実施しました

6月6日(木)、東庄中学校2年生を対象に、利根川の自然再生や葦原、茅葺屋根についての座学と、茅葺職人のご協力のもと、葦簀作りの体験学習を実施しました。使用した葦簀は、今年3月に中学生が葦焼きの前に、刈り取ったものです。完成した葦簀は、中学校の廊下の日よけとして実際に使用しています。

Photo

葦簀作り体験実習の様子。
県外(茨城、岐阜、三重)から
茅葺職人が集まりご指導いただきました。



Interview



茅松
代表 松木 礼さん
(茨城県つくば市)

東庄中の生徒は利根川という自然が近くにあることから、自然を守りたい気持ちと環境を守ることへの関心が強いと感じました。

最近は、編んだり結んだりという体験が少なくなっています。自分たちの手で葦簀を作り、人間と葦原の近い関係に加え、ものづくりの楽しさを学んでもらえてよかったです。



参加した生徒の声
東庄中学校2年3組
飯田 悟子さん

葦簀作りは、簡単そうに見えて意外と難しく、班の仲間と協力できてよかったです。

完成した葦簀を学校のみんなに見てもらい、葦原や自然に対する関心を持ってもらえたら嬉しく思います。

また、体験学習を通して、絶滅危惧種のコジュリンやオオセッカのいる利根川の自然をこれからも守っていききたいとより強く感じました。

教育課 学校教育係 ☎86-2311



ふれあい体験学習を行いました

東庄中学校3年生を対象に乳幼児とふれあう体験実習を行いました。実習は、家庭科の授業として、保護者の方々のご協力のもと、子育て支援センタースマイル(笹川中央保育園)と町教育委員会の共催で実施されました。クラスごとに3日にわたって開催された実習では、月齢に応じてグループ分けをし、抱っこ体験や日々の過ごし方、食事、外出時の持ち物などを保護者の皆さんから教えていただきました。



参加した生徒の声

- 将来、保育士になりたいと考えており、実習を通してその思いがより一層強くなりました。
- マザーズバッグを持ちながら赤ちゃんを抱えて移動することの大変さを実感しました。
- みんな歳は近いけれど、体重や性格が違って新鮮でした。
- 赤ちゃんを抱っこするとき緊張しました。思っていたよりも重みがあり、温かさにはっとして、初めての体験でした。

東庄中学校 教諭の声

普段の授業では見られない生徒の表情をたくさん見ることができ、嬉しかったです。実習を通して学んだことや、温かい気持ちをこれからも大切にしてほしいと思います。



子育て支援センター 保育士の声

この企画を保護者の方々をお願いした時から、「こんな体験いいね」「こういう話もしてあげよう」などと積極的にアイデアをだし、とても協力的に参加してくださいました。子育て中の家族みんなが自分の子どもだけでなく、幅広く地域の子どもたちに関心を持ってくれていることにも感動しました。



▲ご協力いただいた保護者の皆さま
(第2回)

保護者の声

- 生徒たちの温かな視線と言葉を受けて、ママとしてもじんわり温かい気持ちになりましたし、改めて子育てをさせてもらっている幸せを実感しました。
- 中学生の年代の子と関わる機会が少ないので、子どもにとっても刺激的で、いい経験になりました。
- 子育ての大変さを知り、親への感謝や、自分も大切にされてきたということを実感するきっかけになったら嬉しいです。

教育課 学校教育係 ☎86-2311

町立こじゅりんこども園
入園説明会を行います

令和7年度入園希望者を対象に、認定こども園の概要および入園手続きなどについて説明会を行います。
入園にご興味のある方はお越しください。

入園資格 平成31年4月2日から令和2年4月1日の間に生まれた幼児
日時 9月14日(土) 10:00(受付9:30~)
場所 町公民館 大ホール
駐車場 公民館駐車場、町役場駐車場、町水防倉庫駐車場
※保護者のみのご参加をお願いいたします。

教育課 学校教育係 ☎86-2311

5月25日(土)、
「おたのしみ会」が開催されました

5月25日(土)、6組の親子の参加により「おたのしみ会」が開催されました。

はじめに、親子仲よく「ふれあい遊び」を行いました。すると、軽快な音楽に合わせてお店屋さんが到着～♪子どもたちはバッグとチケットを持ってお店屋さんに行き、ゲーム屋さんで遊んだり、タンバリンを作ったりしました。

最後は、タンバリンを持って曲に合わせてみんなでパレードを行いました。子どもたちのにこにこ笑顔を見ることができて、職員一同も幸せいっぱいのおたのしみ会でした。

児童館 ☎87-0921

